

【目次】

- 新機器紹介 ..... 1
- 外部資金獲得情報 ..... 1
- 平成25年度採用の新規研究職員紹介 ..... 2
- お知らせ ..... 4

**【新機器紹介】**

装置名（担当科）、主な仕様、機器外観

**◆清酒製造試験システム（発酵生産科）**

酒造場の約1/10スケール（最大製成量300ℓ）の仕込みが可能な、新商品開発の試作試験や酒造技術者のための技術研修に活用できる酒造ミニプラントです。

主な仕様

- システム構成：洗米装置、こしき、蒸米冷却器、恒温庫、酒母タンク（50L）、発酵タンク（500L）、圧搾機、濾過装置、ボイラー、冷却器、貯蔵タンク（400L）、冷蔵庫、炭酸ガス混入装置、瞬間火入れ装置、清酒製造管理システム
- 仕込量：総米10～150kg

経済産業省平成24年度地域企業立地促進等共用施設整備費補助金  
※平成25年3月導入



**◆におい識別装置（アグリ食品科）**

においの強さや質を数値化することによって、食品分野での商品開発、品質管理、官能評価試験のサポートなどを行う装置です。

主な仕様

- メーカー：株式会社島津製作所
- 型式：FF-2020
- ガスセンサ：小型金属酸化物半導体を10個搭載
- 測定モード：偏位臭マップ法、絶対値表現解析、主成分分析（多変量解析）
- 測定試料：気体、液体、固体、ペースト状の試料について測定が可能

経済産業省平成24年度地域企業立地促進等共用施設整備費補助金  
※平成25年3月導入



**【外部資金獲得情報】**

**◆平成25年度「戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン）」**

（経済産業省中国経済産業局）

- 「あらゆるアルミ系素材に適応し、かつ毒物を使用しない表面処理技術の開発」

（株）アサヒメッキ、奥野製薬工業（株）及び鳥取県産業技術センターによる共同研究開発が採択されました。

本事業の研究開発では、毒物を使用しない化学的手法と物理的手法を組み合わせた新たな技術を開発することによって、あらゆるアルミ素材に適応できる陽極酸化処理技術を確立し、環境配慮と低コスト化につながる表面処理手法を実現します。

## 【平成25年度採用の新規研究職員紹介】

### ◆ くすもと **楠本** かつひろ **雄裕** 【電子・有機素材研究所 応用電子科】

出身は鳥取県西部で、米子工業高等専門学校を卒業後、同校専攻科生産システム工学専攻に入学し、平成25年3月に修了しました。学生時代は電気・情報分野を中心に学び、「自己組織化マップを用いた加速度脈波解析装置の製作」というテーマで研究を実施しました。本研究では、体から採血などを行わずに血行に関する情報を得ることができる加速度脈波をニューラルネットワークの一種である自己組織化マップで解析する小型装置を製作しました。

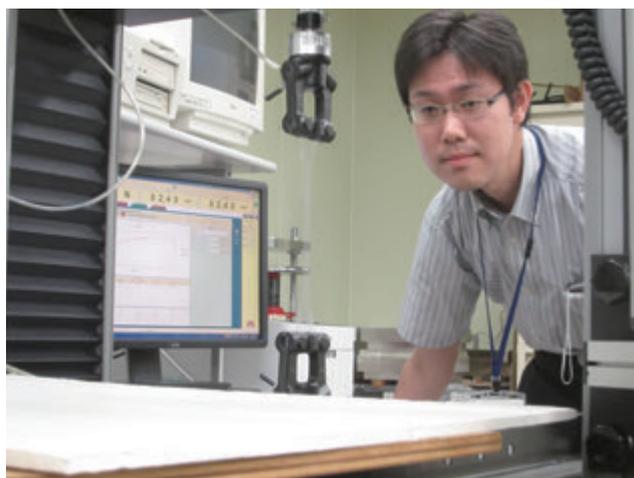
現在は光学関係の機器利用対応を主に行っています。まだまだ修行中の身ではありますが、様々な知識や技術を柔軟に吸収し、多くの企業の方々の方力になれるよう努力していきます。どうぞよろしくお願い致します。



### ◆ むらた **村田** たくや **拓哉** 【電子・有機素材研究所 有機材料科】

これまで、大学で材料力学、機械力学など工学分野について学び、プラスチックの成形加工や二次加工（圧延加工など）、プラスチックと有機物の複合化などの研究を行ってきました。特に、プラスチックの複合材料に関する研究は、今後の業務に経験が活かせるのではないかと思います。また、県内に豊富に存在する天然資源を有効に活用した研究を行いたいと考えています。

研究以外にも様々な業務がありますが、一日でも早く仕事に慣れ、柔軟かつ迅速に対応できるようになりたいと思います。また、様々な業務を通じ県内産業に貢献したいと思います。そのためには、企業訪問等で得られた企業の方々の方力を大切にして業務を行いたいと思います。よろしくお願い致します。



### ◆ はぎはら **萩原** まは **万葉** 【電子・有機素材研究所 産業デザイン科】

短期大学ではグラフィックデザイン、インテリアデザイン、プロダクトデザイン、建築を学びました。修了研究では、面材（薄板材）を利用した研究・制作を行い、製品調査・研究を通して「たたむ・重ねる・曲げる」をテーマとしたインテリア用品への展開を行いました。素材の特性によって異なる強度・耐久性や構成によって現れる形状の変化に着目し、どのような薄板素材があり、どのように加工・成型できるのか学びました。

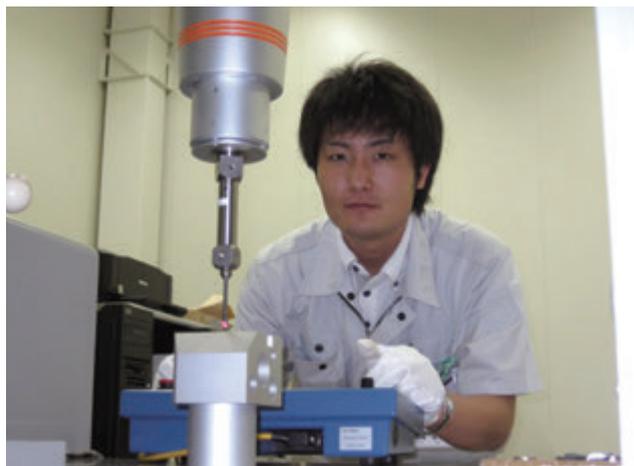
現在は、三次元CAD、CGを使用した製品検討手法、デザイナーと企業の合意形成支援手法の研究や、デザインセミナーの企画・実施を行っております。これから様々な分野、たくさんの企業の方々の方にデザインを通して貢献していきたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。



## ◆ <sup>にいみ</sup>新見 <sup>こうじ</sup>浩司 【機械素材研究所 計測制御科】

大学では工学部で機械工学を専攻し、ボーイング787に使用され次世代材料として話題となっているCFRP(炭素繊維強化プラスチック)の疲労破壊予測に関する研究を行いました。卒業後は自動車企業に勤務し、ロードノイズ性能開発を行っていました。ロードノイズは走行時に聞こえるゴーという音に代表され、車両全体の振動現象と密接に関係するため、開発には様々な苦勞がありました。

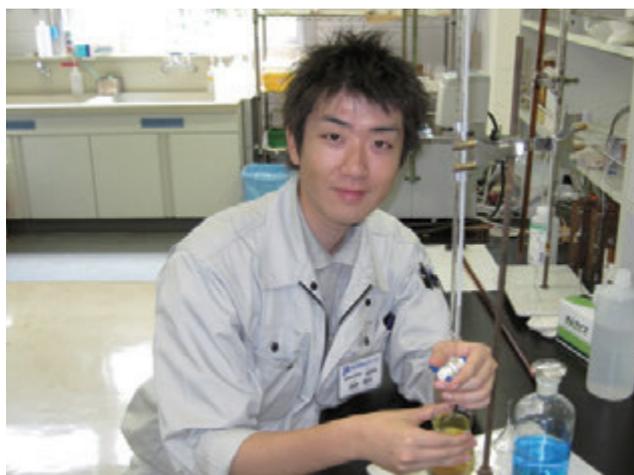
今後は、大学の研究で得た知識と民間企業での実務経験を活かし、県内産業のニーズを積極的に汲み上げながら、地域活性化に直結する研究・技術支援ができるよう頑張りたいと思います。幅広い知識を身につけ早く皆様のお役に立てるよう努力していきます。どうぞよろしくお願い致します。



## ◆ <sup>たなか</sup>田中 <sup>としゆき</sup>俊行 【機械素材研究所 無機材料科】

大学では化学を専攻し、環境問題解決を目指した材料について学びました。大学院では無機物質の一つである粘土鉱物と種々の有機物質を組み合わせる機能を発現させる「無機-有機ハイブリッド材料」について研究を行いました。

現在、県内企業の役に立つ新しい研究を立ち上げることを目標とし、企業訪問を通じて企業ニーズに関する情報を集めているところです。まだまだ勉強不足なので、日々の機器利用への対応や外部講習会などの参加により、当センターにある分析機器を十分に使いこなせるようになりたいです。鳥取県の産業活力向上に貢献できるよう精進していきたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

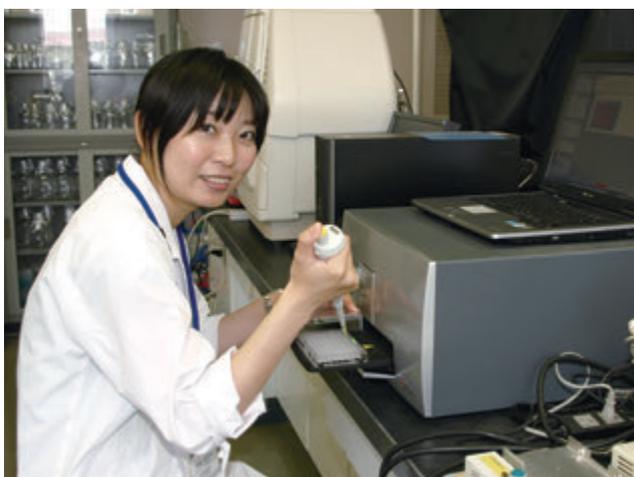


## ◆ <sup>あけど</sup>明渡 <sup>えりか</sup>絵里朱 【食品開発研究所 バイオ技術科】

前職では、大学の研修員として各種研究の補助を行っていました。携わっていた研究では、植物の光合成能を向上させた遺伝子組換え植物や、シックハウスガスであるホルムアルデヒドを吸収する遺伝子組換え植物を作製して機能の解析を行いました。

趣味はインターネットのサイトで美味しそうなお取り寄せ商品を眺めることです。

配属されてしばらく経ちますが、知識、技術、多様な県内産業の発見など日々学ぶことが数多くあり、とても楽しいです。鳥取県は農林畜水産物が豊富で、それを活かした県内企業が数多くあり、'鳥取県らしい'産業の魅力を県内外に発信していくことができるように、幅広い知識と技術を身につけて産業の活性化に貢献していきたいです。



## 【お知らせ】

### ◆「酒類製造試験室」を開所

平成25年6月4日の開所式では、平井知事と鳥取県酒造組合の岡空会長にご祝辞を頂き、「酒類製造試験室」の看板掲げを行いました。多くの関係者の皆様にお集まり頂き、盛大に執り行うことができました。

本試験室は、県内酒造会社の新技術・新商品開発（新しい酒米の開発、新商品の試作等）を支援するため、平成24年度経済産業省の成長産業・企業立地促進等施設整備費補助事業を活用して、電子・有機素材研究所（鳥取市）に整備したものです。

なお、ご利用の際は減免制度がありますので、詳しくは発酵生産科（電話：0857-38-6209）までお問い合わせください。



### ◆基盤技術強化サポーター事業を新設

ものづくり基盤技術に関わる企業等の皆様方の技術的課題に対して、外部の専門知識を有する人材（以下、サポーター）を派遣する事業を行っています。

#### ●対象技術分野

鋳造、鍛造、プレス加工、溶接、熱処理、切削加工、めっき、繊維加工 等

#### ●要件

- (1) 企業等の所在地又は住居地が県内にあること。
- (2) 企業等自ら解決が困難であるか又はセンターの支援だけでは解決が困難であること。
- (3) この事業により解決しようとする技術的課題について、企業等が国、県等の助成を受けていないこと。

#### ●経費

経費の一部（派遣するサポーターへの謝金の2分の1）をご負担頂きます。

#### ●実施要領及び申請書

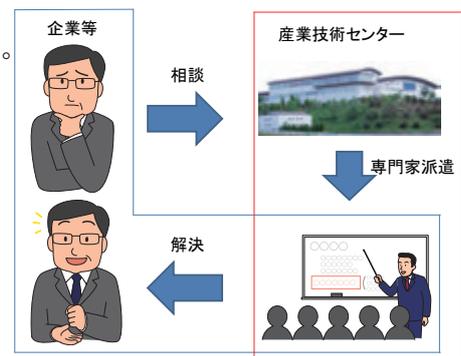
ホームページをご確認ください。

(<http://www.tiit.or.jp/index.php?view=4925>)

#### ●問い合わせ先

不明な点や詳しい内容につきましては、下記までご連絡ください。

担当 機械素材研究所 機械技術科  
電話 0859-37-1811  
FAX 0859-37-1823



地方独立行政法人

鳥取県産業技術センター

Tottori Institute of Industrial Technology

〒689-1112 鳥取市若葉台南七丁目1番1号

TEL (0857)38-6200(代表) FAX (0857)38-6210

ホームページ <http://www.tiit.or.jp/>

E-mail [tsgckikaku@pref.tottori.jp](mailto:tsgckikaku@pref.tottori.jp)